

3月11日の東日本大震災から7ヶ月が過ぎようとしています。この間、町では被災地に職員を派遣し、復興支援を行ってきました。その活動も9月で終了しましたので、これまでの活動内容をお知らせします。



【岩手県 山田町への派遣】

【派遣先】 大浦小学校避難所、豊間根中学校避難所

【派遣期間】

3月31日～4月30日  
(3泊4日の日程で10名)

【メンバー】

日沼宏平、北川亨悦、木藤誠、川村忠寛、柴田仁志、門脇朝哉、鈴木慎太郎、白鳥恭悦、柴田要、嶋津辰也

【派遣先の状況】

派遣当時、避難所では水道や電気、ガスなどのライフラインがようやく復旧してきていた。食料や生活用品などの支援物資も行き渡り、避難者の方からは、「女性用の更衣室がほしい」など、避難所の環境について様々な要望が出るようになっていた。派遣された職員は、そういった要望への対応も行った。

【宮城県 気仙沼市への派遣】

【栄養士】

【派遣先】

気仙沼保健所管内の4つの避難所

【派遣期間】

5月7日～11日(1名)

【メンバー】

堀内みどり

【派遣先の状況】

避難所は20人程度の小規模な避難所から400人を超す大規模な避難所まであった。派遣された職員は、避難者からの栄養相談や食事の聞き取りを担当し、併せて、サプリメントの摂取方法の指導、感染症対策の調査と指導を行った。

【メンバーの感想】

地域と行政が一緒に手を携えて進まなければ復興はできないと感じた。

【岩手県 大船渡市への派遣①】

【派遣先】

日頃市中学校(支援物資集積所)

【派遣期間】

5月12日～30日  
(3泊4日の日程で6名)

【メンバー】

佐藤俊介、笹村夏樹、武田大輔、日沼克文、加藤敏、成田公誠



避難所での健康相談の様子

【メンバーの感想】 避難生活は心身ともに、ぎりぎりの状態だった。そこを支えるものは、やはり人と人とのつながりと思いやりの心だと感じた。

主な活動スケジュール

8:45～ 9:00	保健所にて打合せ
9:00～ 9:45	避難所へ移動
9:45～11:20	健康相談、血圧測定
11:20～12:00	トイレの消毒など
13:00～13:30	健康相談、血圧測定
13:30～14:00	診察介助
14:00～16:00	健康相談、血圧測定
16:00～17:00	保健所へ移動
17:00～18:00	記録作業

主な活動スケジュール

6:45～ 7:00	朝食配膳
7:00～ 7:45	朝食、片付け
7:45～ 9:30	清掃、打合せ
9:30～11:45	支援物資の搬入
11:45～12:00	昼食配膳
12:00～12:45	昼食、片付け
12:45～17:45	支援物資の移動、仕分け
17:45～18:00	夕食配膳
18:00～19:00	夕食、片付け
19:00～20:00	スタッフミーティング
20:00～20:20	避難者へ各種情報お知らせ

【メンバーの感想】

想像以上に被害状況がひどく、言葉にならなかった。  
・現地に行くことで、町の防災や地域のあり方について、振り返って考えることにつながった。



山田町の避難所内の様子

【派遣先の状況】

中学校の体育館には支援物資の衣類が大量に搬入されていた。衣類は被災者へ配布されていたが、それでもダンボールで山積になっていた。また、中古の衣類は搬入するだけで取り扱わないという状況であった。派遣された職員は避難所への支援物資の搬出、物資の仕分け、在庫リストの作成を行った。

【メンバーの感想】

・八峰町沖ではこのような地震が起らないことを祈るばかりだ。  
・支援物資をどこに、どのぐらい搬出するかを決める業務も支援できれば状況が改善されるのではないかと感じた。



山積にされた支援物資のダンボール



水沢高校の生徒による慰問コンサート

【岩手県 釜石市への派遣】

【保健師】

【派遣先】

赤浜小学校避難所(大槌町)、釜石中学校避難所、中妻体育館避難所

【派遣期間】

4月5日～10日(1名)  
5月10日～15日(1名)  
6月4日～9日(1名)

【メンバー】

直嶋京子、柴田由美子、伊勢睦子

【派遣先の状況】

避難所では、避難生活のストレスによる体調の悪化や、衛生環境の悪さなどが問題となっていた。派遣された職員は、避難者の健康相談に当たるとともに、トイレの消毒や医療チームの診察の介助などを行った。

【岩手県 大船渡市への派遣②】

【派遣先】

大船渡市役所

【派遣期間】

7月22日～29日(1名)  
8月26日～9月2日(1名)

【メンバー】

柴田博晃、岡本隆

【派遣先の状況】

市役所では、全国の市町村から約40名の職員が派遣され、災害弔慰金や義援金に関する業務を行っていた。被災者からの書類の受付はほとんど終っており、派遣された職員は、書類に不備がないかどうかの確認や、不備があった場合の連絡などが主な業務となった。

【メンバーの感想】

・今回の支援では、被災地の状況を肌で感じる事ができた。行政職員でなければできない支援活動もあるのだなと思った。  
・このような大災害のときに行政としてやるべきこと、特に今回は事務処理について多くのことを学ぶことができたのは大きな収穫だった。

※メンバーは派遣された順に掲載しています。